学校番号	T0207

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	高校数学Ⅱ　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・いろいろな式、複素数、微分・積分の考えに関する問題を表現・処理する技能を学びます。また身に付けた知識や技能を用いて事象を数学的に考察し処理する方法を学びます。

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。

・授業中に行う練習プリントは、ファイル・教科書等を参考にして学習内容の確認のためのものです。最後まであきらめずに取り組みましょう。

・所定の用紙に黒板に書かれた内容等を書きファイルに綴じてください。
また､後で練習プリントでの学習のときなど､見直しのときにわかるようにていねいに書くようにしてください。

2　学習の到達目標

・いろいろな式、複素数、微分・積分の考えについて基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。
・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付ける。
・数や式を多面的にみて事象を的確に表現し、関数の特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、適切な手法を選択して分析を行い、判断したりする力を養う。
・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度､問題解決の過程を振り返って考察を深めたり､改善したりしようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・いろいろな式、複素数、微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	・数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察することができる。 ・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりすることができる。 ・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察することができる。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期・後期	いろいろな式	複素数と方程式 複素数と二次方程式	a:数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算ができる。 b:複素数の四則計算の方法をすでに学習した数や式の計算と関連付けて、同様な点や異なる点を考察できる。 c: 粘り強く考え、数学的に考察を深めながら学習に取り組んでいる。	考査	考査 レポート	振り返りシート 提出物
		高次方程式 式と証明	a:剰余の定理や因数定理を理解し、与えられた式が因数であるかを調べたりすることができる。 b: 式を多面的に捉えて目的に応じて適当に変形したりすることができる。 c: 粘り強く考え、数学的に考察を深めながら学習に取り組んでいる。	考査	考査 レポート	振り返りシート 提出物
	微分・積分の考え	微分の考え (平均変化率、微分係数、導関数、接線、関数の増加・減少、関数の極大・極小、関数の最大・最小)	a: 微分係数や導関数について理解し、関数の導関数を求めることができる。 b:3 次関数のグラフをかく際に、導関数を用いて考察できる。 c: 粘り強く考え、数学的に考察を深めながら学習に取り組んでいる。	考査	考査 レポート	振り返りシート 提出物
		積分の考え (不定積分、定積分、面積、いろいろな図形の面積)	a:不定積分・定積分の意味を理解し、不定積分を求めることができる。 b:積分の考えを用いて、いろいろな図形の面積を求める方法について考察できる。 c: 粘り強く考え、数学的に考察を深めながら学習に取り組んでいる。	考査	考査 レポート	振り返りシート 提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度